

2021 年度事業計画（案）

一般社団法人 子育て園 ぽかぽか

昨年度に引き続き、コロナ禍での運営となる一年と覚悟を新たに取り組みます。今年度は昨年度の経験を活かし、各事業に取り組むとともに、地域でのニーズを理解し、当法人ならではの活動を模索したいと思います。職員一人ひとりが、ぽかぽかにおける保育・療育を理解し誇りとできるよう、また保護者や地域の方々に寄り添い、笑顔で過ごせる年となりますよう、一步一步歩みを進めてまいります。

I 事業期間

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

II 事業の目的

すべてのこどもの健やかな成長を支え、共に生きることを目的とする。

III 事業の方向性

保育事業では、「つくし園で大切にしたい保育とは」を明確に打ち出し、保護者、地域の方々と力を合わせて、一人ひとりのこどもの今を大切に保育に取り組みます。また土曜日保育については、次年度からの実施を見据えて検討します。

支援事業では、引き続き保護者や地域の方々に寄り添い、丁寧な仕事を目指します。「たんぽぽで大切にしたい療育とは」を打ち出せるよう、職員一同こどもへの観察力を高めていきます。また事業拡大等も視野に入れ今後の運営安定を模索します。

地域とのつながりを大切に、保育事業と支援事業もさらに日常的なつながりを深くしていきます。そして2023年度には法人10周年を祝えるよう準備していきます。

目標：①当法人の独自性を打ち出し、意義を明確にして保育・療育にあたることで、地域理解や事業の安定を図る。

②両施設の交流をさらに深め、社会福祉法人化を含めた法人の充実した成長を目指す。

小規模保育施設事業

つくし園（0～2歳）定員12名

職員 正職員5名 パート11名 管理栄養士1名 計17名

うち 管理者1名 保育者12名 調理者2名 事務者1名 管理栄養士1名

管理者：斉藤 律子 保育代表：柚木 祥

新年度、1歳児5名、2歳児5名、計10名を新たな気持ちで迎えました。2週間後1歳児1名が入園され、計11名となりました。行政と連携し、定員となるもう1名の入園を待ちながら、こどもたちと向き合い、安心して過ごす家庭的保育を行います。

コロナ禍が続く中ですが、対策をしながらこどもたちにとっての毎日を丁寧に積み重ねていけるよう取り組んでまいります。法人内である西宮たんぽぽと異年齢交流を行い、さらに多様な個性と出会い、互いを受け入れながら遊ぶ、よろこびに繋がるように準備します。また更なる保育士の質の向上を目指し、研修等に参加し職員間で周知、共有します。これからも集う人々にとり、ぽかぽかと「ひだまり」のような施設であるよう努めます。

目標：大人もこどもも集う方々の大切な居場所（第2の家）となり、個性を大切にし、認め合う場を目指してまいります。

1. 子育て支援に関わる事業

（1）園庭開放を実施 月～金曜日 10時～11時30分 1日2組で継続。

（2）保護者会の開催（全3回）

①園生活で大切にしているリズムと関わり・親睦会（4/10⇒6/12）

②園生活で大切にしている食事と関わり・給食試食会（9/25）

③こどもの身体づくり（11/6）

2. 子育て支援に関わる研究・人材育成およびその場の提供

（1）研究発表

武庫川女子短期大学 幼児教育学部1年「保育者論」前期授業

武庫川女子大学 教育学部3年「乳児保育Ⅱ」後期授業 佐藤知子（子育て園 ぽかぽか）

（2）職員研修

《A》所内研修 ◎保育スキルアップ研修

・保育年間計画について（4/1）・家庭的保育での役割と生活（5/13）・行事の意味（6/17）

・保育ディスカッション①（7/15）・こどもの保健衛生、安全対策（8/19）

・絵本の読み聞かせ（9/16）・食育研修（10/7）・保育ディスカッション②（11/11）

・クリスマス行事に向けて（12/9）・地域交流の役割（1/13）

・手遊び・ふれあい遊び（2/10）・進級卒園、入園式に向けて（3/10）

《B》保護者合同研修

11月6日「こどもの身体づくり」 講師：管理栄養士 木下 麗子氏

《C》所外研修 市等からの案内を受け、積極的に参加できる環境を作る

支援事業

児童発達支援 西宮 たんぽぽ

職員 正職員 6 名 講師 7 名 パート職員 7 名 合計 20 名

うち管理者 1 名 児童発達支援管理責任者 2 名 指導員 9 名 事務者 1 名

言語聴覚士 1 名 作業療法士 1 名 音楽療法者 1 名 特別講師 1 名

習字講師 1 名 操体法運動講師 1 名 芸術体験講師 1 名

管理者：神長 純子 児童発達支援管理責任者：和田 雄介 佐藤 知子

(1) 児童発達支援事業（つぼみ）（未就学児 5～6 名程度）

主担 井阪 明 副担 杉山 由美

今年度も家庭的で安心できる環境の中で、リズムある生活を整え、身体づくりを行えるよう支援します。こどもたちの年齢幅の広がりを受け、さらに個別対応を充実させ、じっくりと遊びに取り組むことを中心に、自身・人・モノへの興味・関心を伸ばしていきます。

さらに、全ご家庭への訪問を推奨。ご家庭の様子を伺い、たんぽぽと家庭で一層連携を深めながら支援を行っていきます。

(2) 放課後等デイサービス事業（わたぼうし）（小学校 1～6 年 5～6 名程度）

主担 森永 恵理 副担 常松 陽子

主に各曜日に設定されたプログラムの中で、一人ひとりの興味・関心、発想力を引き出し、放課後がワクワクする時間となるよう準備します。また友達と一緒に過ごす中で、少集団でのルールを学び、人とかかわる楽しさ、喜びを感じていきます。

（かなで）（中学生 1～3 年 3～4 名程度 月に 1～2 回、土曜日に開催）

昨年に引き続き、こどもの自主性を引き出し、「やってみたい」ことを出し合い、仲間と活動計画、目標を決めて活動していきます。自身の得意を発揮し、協力・役割分担しながら準備を進めていく過程を大切に、仲間との関係を深めていきます。

(3) 保育所等訪問支援事業（つむぎ）

コロナ禍においても工夫しながら、保護者の方からのニーズに丁寧に対応し、学校や幼稚園等につなげていきます。先生方、保護者、たんぽぽが連携し、共に協力し合える関係を築いていきます。また地域で過ごすこどもたちの理解が進むよう力を注ぎ、地域とのつながりも模索します。

(4) 個別療育「わかば」（毎週月曜日 10 時 15 分～14 時 45 分 一組 1 時間）

作業療法士 矢野寿代

感覚面や操作面を中心とした作業療法。保護者とも連携していきます。

目標：こどもへの観察力を高め、支援目的を職員間でしっかり共有していきます。保護者との連携を中心に、たんぽぽ、家庭、地域のつながりを常に意識していきます。

1. 子育て支援に関わる事業

(1) ペアレント・プログラム開催（つぼみクラス対象）

スーパーバイザー：県立広島大学保健福祉学部 米倉 裕希子氏

9月から1月まで、計6回開催予定

(2) 保護者会（わたぼうしクラス対象）

- ・活動分析の視点からこどもを理解する 矢野寿代氏（6～7月に予定）
- ・進路について（予定）

2. 子育て支援に関わる研究・人材育成およびその場の提供

(1) 研究発表

保育学会 第74回大会 2021年5月15日～16日 オンライン開催

「感情表出研究をもとにした障害のある子どもの保護者支援ー幼児期から学童期に向けてー」

米倉裕希子氏（県立広島大学保健福祉学部）佐藤知子氏（子育て園 ぽかぽか） 発表内容③

(2) 職員研修

《A》所内研修 ◎療育スキルアップ研修

- ・たんぽぽ療育マニュアル、行事のもつ意味①、NCプログラムについて(4/19)
- ・家庭訪問の意義、安全について(6/17)
- ・未就学ペアレントプログラムの実践に向けて（米倉 裕希子氏）(6/17)
- ・こどもの発達と感覚統合、保育所等訪問の意義、行事のもつ意味②(9/25)
- ・こどもの発達とことば、事故防止、虐待、身体拘束について(10/12)
- ・自己評価表より、感染症対策、個人情報(12/10)
- ・実践を終えての振り返り（米倉 裕希子氏）(1/18)
- ・各クラス来年度年間計画(3/18)

《B》保護者合同研修

- ・未就学児ペアプロ実践①②③④⑤⑥（9/17, 10/1, 10/15, 11/5, 12/17, 1/14）

《C》所外研修 市等からの案内を受け、積極的に参加できる環境を作る

《D》施設見学

- ・社会福祉法人 新生会
- ・他事業所見学（児童発達支援、放課後等デイサービス事業所）
- ・支援学校見学（こやの里）

法人 地域開放型事業

1、子育て支援に関わる事業

(1) 法人事業

- 《A》 夏祭り 2021年 8月 7日 (土)
- 《B》 バザー 2021年10月23日 (土) *父の会作成、ジオラマ展示予定
- 《C》 餅つき大会 2022年 1月22日 (土)
- 《D》 作品展 2022年 3月第1週
- 《E》 助成金

- ・ 阪急阪神ホールディングス株式会社 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
 *賜りました助成金により、さらに子育て支援に取り組んでまいります。

この他、運営を助けられる助成金申請への取り組み

(2) 地域開放子育て支援事業 ～親子で自然体験～ 於：甲山森林公園

- ・ 第1回「ひだまり おやこ たんけん」(5/15⇒6/26)
- ・ 第2回「ひだまり おやこ たんけん」(10/2)
- ・ 第3回「ひだまり おやこ たんけん」(12/4)

NPO 法人アサヒキャンプの学生ボランティアさんたちと協働し、コロナ禍であっても、親子で過ごせる場の提供、「生きる力」を育める活動を目指します。
今年度は、親子参加型の自然体験を実施します。

2、子育て支援に関わる研究・人材育成およびその場の提供

地域の方々と共に学ぶ場、法人職員全体での学びの場において、キャリアアップと共に、地域内、法人内交流を深めていきます。

(1) 公開講座

(2) 法人内全体職員研修

- ・ 6月19日 (土) 講師：吉良 創氏 (NPO 法人南沢シュタイナー子ども園 代表理事)
 - ・ こどもの傍らに立つ大人の姿勢
 - ・ ワークショップ (リズムを動く)
 - ・ 将来を見据えた、特に第一7年期のこどもの育ちに必要な環境
- ・ 7月3日 (土) 講師：日本赤十字社
 - ・ 日本赤十字幼児安全法講習
- ・ 11月27日 (土) 講師：西村 猛氏 (発達支援ゆず 代表) 他
 - ・ こどもの体の発達について
 - ・ 他